

日本ブドウ・ワイン学会 (ASEV JAPAN) 評議会資料  
(2023年12月1日、メール会議)

I 報告

1. 事業報告 ..... p.1
2. 決算報告 ..... p.4
3. 会計監査報告 ..... p.5
4. 事業計画..... p.6
5. その他

II 議事

1. 事業報告、決算報告、会計監査の承認
2. 事業計画案および予算案の承認
3. その他

III その他

# 2022～2023 年日本ブドウ・ワイン学会 (ASEV JAPAN) 事業報告 (案)

(2022 年 11 月 1 日から 2023 年 10 月 31 日まで)

## 1. 会員現況

2023 年 10 月 31 日現在の総会員数は 432 名 (社) で、昨年から 11 名増加した。

会員区分	人数	前年比
専門会員 (ASEV 会員)	70	-3
専門学生会員 (ASEV 会員)	1	0
一般会員	268	+14
一般学生会員	16	+2
名誉会員 (ASEV 会員 1 名を含む)	11	+1
特別個人会友	3	-1
産業会員	63	-2
合計	432	11

## 2. 年次大会, 総会

### 2-1 2022 年 甲府大会

日本ブドウ・ワイン学会 2022 年甲府大会 (第 37 回) の一般講演が、2022 年 11 月 21 日 (月) ~25 日 (金) まで YouTube を利用したオンライン上で、また、受賞講演・特別講演が 2022 年 11 月 26 日 (土) に山梨大学 A2-21 教室で開催された。安蔵 光弘氏 (山梨県ワイン酒造組合会長) が大会実行委員長を務めた。一般講演は全て口頭発表とし、オンラインサーバー上に動画発表ファイルを置き、学会ホームページサーバー内の暗証番号付きリンクからアクセスする形式で行い、参加者の募集は Google Form 機能で行った。27 題の発表が行われ、一般講演参加者は 292 名であった。受賞講演は、日本ブドウ・ワイン学会論文賞受賞者講演として「ワインの無機元素に関する研究」清水 秀明氏 ((独) 酒類総合研究所)、及び「'甲州'ブドウの特性解明に関する研究」鈴木 俊二氏・榎 真一氏 (山梨大学)、日本ブドウ・ワイン学会技術賞受賞者講演として、「'甲州'のワイン用推奨系統の選抜及び普及」山梨県・山梨県ワイン酒造組合の発表が行われた。また、特別講演として、アメリカ学会からの招待講演「Risk Assessment and Mitigation of Smoke Exposure Effects on Grape and Wine Quality」Tom Collins 氏 (Past ASEV President) が行われた。大会発表賞として以下の 2 題が選出された。

「pH がマスカット・ベリー A ワインのポリフェノールに及ぼす影響」

○平田佳佑・井上絵梨・渡辺 (斎藤) 史恵・奥田 徹・久本雅嗣 (山梨大学ワイン科学研究センター)

「ジグルコシド系アントシアニンは高 pH で容易に退色する」

○芹澤 樹・渡辺 (斎藤) 史恵・久本雅嗣・奥田 徹 (山梨大学ワイン科学研究センター)

### 2-2 第 39 回総会

第 39 回総会は 2022 年 11 月 26 日 (土) に、山梨大学 A2-21 教室で開催された。参加者は 59 名 (委任状 120 通) であった。これにより 2021~2022 会計年度の事業報告・決算報告・会計監査報告、2022~2023 会計年度の事業計画案と予算案が承認された。

### 3. セミナーの開催

2022年度セミナーは2022年11月26日(土)に山梨大学A2-21教室で開催され、「日本におけるワインブドウの課題と展望 日本ワインブドウ栽培協会の取り組みとともに」鹿取 みゆき氏(信州大学経法学部特任教授)が講演を行った。

### 4. 常任理事会

常任理事会は2回{[第129回, 2023年5月24日(水), Zoom会議][第130回, 2023年10月4日(水), Zoom会議]}開催された。

全ての議事内容はJ. ASEV Jpn.を通して全会員に報告される予定である。

### 5. 評議会

評議会は2022年11月26日(土)に、山梨大学A2-21教室で開催され、第39回総会への提出議案について検討され、承認された。

### 6. 編集委員会報告

#### (1) 日本ブドウ・ワイン学会編集委員会の開催

2022年度編集委員会を2022年11月25日(金)に山梨大学(対面&オンライン)で開催し、学会誌の編集方針について議論した。

なお、2023年度編集委員会を2023年12月15日(金)に名城大学(対面&オンライン)で開催し、学会誌の編集方針について実施予定。

#### (2) 会誌の発行

J. ASEV. Jpn. Vol.33 No.2&3, Vol.34 No.1, Vol. 34 No.2を発行した。

(2023年より年2巻発行)

#### Vol.33 No.2&3

2022年甲府大会プログラム・大会要旨, 研究報文2編, 学術情報2報, AJEV抄録, 常任理事会議事録, 投稿規定・投稿要領および入会案内を掲載し, Vol.33 No.2, 3合併号として2022年12月20日付で発行した。

#### Vol.34 No.1

巻頭随想, 研究報文3編, 学会情報2報, 2022年功労賞, AJEV抄録, 常任理事会議事録, 投稿規定・投稿要領および入会案内を掲載し, 2023年7月20日付で発行した。

### 7. 事務局

アメリカ学会との折衝, 会計処理, 名簿管理, 2023 年度大会への準備, 学会誌等の発送, ホームページの管理などを行った.

#### 8. 学会賞選考委員会

2023 年 学会賞選考委員会 (功績賞、功労賞、技術賞) は次の通りである.

委員長：大滝敦史

委員：奥田 徹, 小田滋晃, 小原 均, 恩田 匠, 小林弘憲, 齋藤寿広,  
沢邊昭義, 武井千周, 中尾義則, 宮井孝之

選考委員会の開催 (功績賞、功労賞、技術賞)

日本ブドウ・ワイン学会 (ASEV JAPAN) 授賞規定に基づき 2023 年の功績賞、功労賞および技術賞の推薦依頼を行い (2023 年 7 月 12 日 (水)) 候補者を選出した. 2023 年 10 月 4 日 (水) に選考委員会を開催し, 以下のように決定した.

2023 年功績賞：後藤奈美 (酒類総合研究所) 「日本ブドウ・ワイン学会の運営並びに日本のブドウ・ワイン産業の発展に対する貢献」

2023 年功労賞：小田滋晃 (レイ・パストゥール医学研究センター) 「日本ブドウ・ワイン学会誌の編集、刊行および社会科学分野の論文掲載への多大な尽力」

2023 年技術賞：渡辺 (齊藤) 史恵・中川洋史・岸本宗和・久本雅嗣・奥田 徹 (山梨大学) 「ワインの産膜汚染防止のための基礎的研究」

2023 年 学会賞選考委員会 (論文賞) は次の通りである.

委員長：大滝敦史

委員：奥田 徹, 小田滋晃, 小原 均, 恩田 匠, 小林弘憲, 齋藤寿広,  
沢邊昭義, 武井千周, 中尾義則, 宮井孝之

選考委員会の開催 (論文賞)

日本ブドウ・ワイン学会 (ASEV JAPAN) 授賞規定に基づき 2023 年論文賞の推薦依頼 (2023 年 7 月 12 日 (水)) を行い, 2023 年 10 月 4 日 (水) に選考委員会を開催し, 以下のように決定した.

2023 年論文賞：石井章夫・鼠尾まい子・板垣 芳・新琴巴図・新井由紀・藤原正幸 (ヤンマーホールディングス株式会社), 中尾義則・河合美波 (名城大学) 「土壌特性と収穫期直前のかん水がワイン用ブドウの果実品質に及ぼす影響」

以上

## II. 2022～2023年日本ブドウ・ワイン学会（ASEV JAPAN）決算報告（案）

### 1 一般会計(2021年11月1日～2022年10月31日)

#### I 収入の部

科目	予算	2023年 実績
a 前年度繰越	2,990,449	2,990,449
b 年会費	1,750,000	1,815,786
c その他(別刷、雑誌代等)	0	401,700
d 預金利息	5	7
e アメリカブドウ・ワイン学会(ASEV)より補助金(\$ 500)	50,000	67,390
合計	4,790,454	5,275,332

#### II 支出の部

科目	予算	2023年 実績
a 会誌刊行費(Vol. 33-2,3, 34-1)	850,000	748,809
小計	850,000	748,809
b 事業費		
セミナー開催費(2023年)	150,000	54,500
セミナー開催費(2022年)	150,000	16,400
会議費	60,000	19,768
本部運営費	300,000	119,667
編集委員会運営費	250,000	22,330
大会準備金(2023年大会)	150,000	150,000
大会準備金(2022年大会)	120,000	210,985
西日本地域研究会関係費	100,000	100,000
各賞経費	200,000	152,365
小計	1,480,000	846,015
c 事務費		
印刷費	100,000	83,912
通信費	200,000	137,442
消耗品費	100,000	71,600
振替手数料、送金料	70,000	50,655
小計	470,000	343,609
d 特別会計(アメリカ学会交流費準備金)へ繰入	200,000	200,000
e 予備費	1,790,454	0
合計	4,790,454	2,138,433

#### III 収支

収入	4,790,454	5,275,332
支出	4,790,454	2,138,433
収支	0	3,136,899

### 2 特別会計(2022年11月1日～2023年10月31日)

#### (1) アメリカブドウ・ワイン学会交流費準備金

I 収入	予算	2023年 実績
a 前年度繰越	1,728,512	1,728,512
b 2022～2023年一般会計より	200,000	200,000
c 預金利息	0	11
合計	1,928,512	1,928,523

II 支出		
a 年次大会へのASEV親学会代表招待関係費	600,000	600,423
b ASEV親学会との交流、意見交換会費	50,000	12,312
c 予備費	0	0
合計	650,000	612,735
III 収支		
収入	1,928,512	1,928,523
支出	650,000	612,735
	1,278,512	1,315,788

(2) 記念事業費等準備金		2023年
I 収入	予算	実績
a 前年度繰越	2,020,633	2,020,633
b 預金利息	0	34
合計	2,020,633	2,020,667
II 支出	0	0
合計	0	0
III 収支		
収入	2,020,633	2,020,667
支出	0	0
	2,020,633	2,020,667

### 3 財産目録(2023年10月31日現在)

#### I 資産

現金	14,860
普通預金(ゆうちょ銀行)	46,065
郵便振替貯金	3,075,974
合計	3,136,899

#### II 特別会計



アメリカブドウ・ワイン学会交流費準備金	1,315,788
記念事業等準備金	2,020,667
親学会会費納入代行準備金	387,144

### 会計監査報告

上記の現金、預貯金、帳簿並びに諸票書類を監査した結果、相違ないことを確認しました。

2023年 11月17日

会計監事

廣瀬和貴   
 工藤雅義 

2023～2024年 日本ブドウ・ワイン学会 (ASEV JAPAN) 事業計画 (案)  
(2023年11月1日～2024年10月31日)

1. 大会の開催

2023年大会は、中尾義則氏(名城大学)を大会実行委員長として、名城大学 天白キャンパス(愛知,名古屋)にて12月16,17日に対面の開催を行う。また、2024年大会は2024年12月に北海道大学学術交流会館において曾根 輝雄氏(北海道大)を大会実行委員長として開催するための準備を行う。

2. セミナーの開催

2023年大会の開催に合わせて、2023年セミナーを開催するための準備を行う。また、2024年大会の開催に合わせて、2024年セミナーを開催するための準備を行う。

3. 日本ブドウ・ワイン学会 (ASEV JAPAN) 各賞の授与

日本ブドウ・ワイン学会 (ASEV JAPAN) 各賞を授与する。

4. J. ASEV Jpn.誌の発行

(1) J. ASEV Jpn.誌の発行

当期に2号分発刊する。

Vol.35, No.1 (2024年6月), Vol.35, No.2 (2024年12月)

(2) J. ASEV. Jpn. 投稿規定の変更

2023年よりAJEVの投稿規定の大幅なアップデートが実施されたため、J. ASEV. Jpn.も変更が必要。

投稿規定担当で草案を作成し、2025年より適用を目指す。

(3) 編集委員・AJEV抄録 委員の変更

編集委員の変更

新規: 榎 真一(山梨大学), 佐々木佳奈子(麒麟ビールホールディングス(株)), 清水秀明(酒類総研)

辞退: 奥田 徹(山梨大学)

AJEV抄録担当の変更

新規: 井上絵梨(山梨大学)

辞退: 奥田 徹(山梨大学)

J. ASEV. Jpn. Vol.35 No.1 (2024) より適用

5. アメリカブドウ・ワイン学会年次大会への日本部会代表の参加

2024年6月のアメリカブドウ・ワイン学会(オレゴン州ポートランド)に代表者を派遣し、交流を図る。

6. 年次大会や学会誌での論文発表の促進

年次大会での発表数や論文の数が増えるように努力する。

7. 会員増員への努力

学術研究,あるいはブドウ栽培およびワイン製造に従事する個人会員の勧誘(各役員は1名以上の新会員候補者を学会本部あて提出).

8. 産業会員の勧誘と会費の増口要請  
産業会員や会費の口数が増えるように努力する.

9. 定款の改訂  
定款を見直し,必要があれば改訂する.

以上



2023～2024年日本ブドウ・ワイン学会（ASEV JAPAN）予算（案）

1 一般会計（2023年11月1日～2024年10月31日）

I 収入の部

科目	予算
a 前年度繰越	3,136,899
b 年会費	1,750,000
c その他（別刷、雑誌代等）	0
d 預金利息	5
e アメリカブドウ・ワイン学会（ASEV）より補助金（\$ 500）	50,000
合計	4,936,904

II 支出の部

科目	予算
a 会誌刊行費（Vol.34-2, 35-1）	850,000
小計	850,000
b 事業費	
セミナー開催費（2024年）	100,000
会議費	60,000
本部運営費	300,000
編集委員会運営費	250,000
大会準備金（2024年大会）	150,000
西日本地域研究会関係費	100,000
各賞経費	200,000
小計	1,160,000
c 事務費	
印刷費	100,000
通信費	200,000
消耗品費	100,000
振替手数料、送金料	70,000
小計	470,000
d 特別会計（アメリカ学会交流費準備金）へ繰入	200,000
e 予備費	2,256,904
合計	4,936,904

III 収支

収入	4,936,904
支出	4,936,904
収支	0

2 特別会計（2023年11月1日～2024年10月31日）

(1) アメリカブドウ・ワイン学会交流費準備金

I 収入

a 前年度繰越	1,315,788
b 2023～2024年一般会計より	200,000
c 預金利息	0
合計	1,515,788

II 支出

a 年次大会へのASEV親学会代表招待関係費	0
b ASEV親学会との交流、意見交換会費	50,000
c 予備費	0
合計	50,000

Ⅲ 収支	
収入	1,515,788
支出	50,000
	<hr/>
	1,465,788

(2) 記念事業費等準備金

Ⅰ 収入	
a 前年度繰越	2,020,667
b 預金利息	0
合計	<hr/>
	2,020,667

Ⅱ 支出	
	0
合計	<hr/>
	0

Ⅲ 収支	
収入	2,020,667
支出	0
	<hr/>
	2,020,667